

適正価格での出荷を

日合協東北連合会

日本アスファルト合材協会（日合協）東北連合会（野口典秀会長）は2025年度通常総会を6日、仙台市青葉区のホテルモントレで開き、本年度の事業計画と収支予算を承認した。アスファルト混合物の市場単価や諸資材の動向調査や働き方改革に向けた啓発活動を展開する。

冒頭、野口会長は「昨年度は統計開始以来最低の合材製造数量になった。道路舗装に向けられる予算は厳しいが、皆さんの経営努力に報いるためにも、技術を蓄積し、働き方改革を進め未来への備えを続けていく。そのためにも適正価格で工場から出荷することが大切だ」と呼び掛けた。写真。



総会後に創立40周年を記念し、長年役員を務めた山形建設の後藤完司代表取締役会長を功労者表彰したほか、フリーアナウンサーの石川顕氏による特別記念講演で節目を祝った。

